



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 住友重機械工業株式会社  
コード番号 6302 URL <http://www.shi.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 吉伸

問合せ先責任者 (役職名) IR広報室長

(氏名) 大島 秀夫

TEL 03-6737-2333

四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	137,892	26.3	10,092	119.6	9,631	147.7	3,464	117.6
23年3月期第1四半期	109,145	△13.9	4,596	53.6	3,888	40.2	1,592	93.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 6,645百万円 (871.6%) 23年3月期第1四半期 684百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	5.64	—
23年3月期第1四半期	2.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	626,183	—	272,344	—	—	43.0
23年3月期	626,829	—	269,380	—	—	42.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 269,547百万円 23年3月期 267,326百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	294,000	16.7	18,500	13.5	16,500	11.4	9,000	13.6	14.65
通期	630,000	15.0	54,000	17.9	50,500	14.1	30,000	7.4	48.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	614,527,405 株	23年3月期	614,527,405 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	132,836 株	23年3月期	122,181 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	614,397,333 株	23年3月期1Q	603,260,882 株
----------	---------------	----------	---------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などにつきましては、【添付資料】4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11
(1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益、受注残高	11
(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、本年3月に発生しました東日本大震災の影響にともなうサプライチェーンの混乱、不安定な電力供給等により生産活動が大きく影響を受け、輸出も減少し景気は急速に悪化いたしました。また、世界経済を牽引していた中国につきましてはインフレ抑制への動きも見られ先行き不透明感が出ており、欧米先進国では欧州における金融不安長期化、米国における市況回復の遅れもあり全体的に不安定な状態にあります。

このような経済環境のもと、当社グループは震災復興対応を優先に行いながら混乱する生産活動の正常化に向けた事業運営を行いました。

この結果、受注高につきましては精密機械、船舶を除く部門で増加し前年同期比28%増加の1,509億円となりました。売上高につきましては、産業機械と環境・プラントを除く部門で増加し、前年同期比26%増加の1,379億円となりました。

損益面では、売上高の増加に加えコストダウン効果もあり営業利益は前年同期比120%増加の101億円、経常利益は前年同期比148%増加の96億円、四半期純利益は前年同期比118%増加の35億円となりました。

各部門別の状況は、以下の通りであります。

## ① 機械コンポーネント部門

新興国における市況拡大に加え欧州事業の拡大も寄与したことからほぼ全ての機種が前年から好転し、部門全体で受注、売上ともに前年同期を上回る結果となりました。この結果、受注高は242億円(前年同期比34%増)、売上高は222億円(前年同期比37%増)、営業利益は12億円となりました。

## ② 精密機械部門

プラスチック加工機械については中国を中心とした東アジア市場が低迷したものの欧州の回復もあり受注、売上ともに増加しました。その他機種につきましては医療機器等が低調に推移したこともあり部門全体で受注は減少し、売上は前期受注の好調もあり前年同期を上回る結果となりました。この結果、受注高は367億円(前年同期比1%減)、売上高は318億円(前年同期比25%増)、営業利益は23億円となりました。

## ③ 建設機械部門

油圧ショベル事業につきましては震災影響によるサプライチェーンの混乱の影響はあったものの受注、売上ともに前年同期を上回りました。建設用クレーン事業につきましては北米市場の回復が見られ受注、売上ともに増加いたしました。この結果、受注高は403億円(前年同期比27%増)、売上高は347億円(前年同期比20%増)、営業利益は16億円となりました。

## ④ 産業機械部門

タービン・ポンプ事業は海外における資源・エネルギー関連顧客の設備投資が好調に推移し、運搬機械事業につきましては震災復興関連対応を優先に行い受注は前年同期に比べ増加しました。一方、売上につきましては前年同期を下回りました。この結果、受注高は261億円(前年同期比68%増)、売上高は139億円(前年同期比7%減)、営業利益は18億円となりました。

⑤ 船舶部門

船舶市況につきましては低調で受注は前年同期同様に受注がなく、売上につきましては昨年同期よりも2隻多い3隻の引渡しとなりました。この結果、受注高は10億円(前年同期比12%減)、売上高は233億円(前年同期比166%増)、営業利益は48億円となりました。

⑥ 環境・プラント部門

エネルギープラント事業、水処理プラント事業ともに堅調に推移したことから受注は増加し、売上につきましては昨年の受注が低調であったことにより減少いたしました。この結果、受注高は206億円(前年同期比61%増)、売上高は99億円(前年同期比26%減)、営業損失は21億円となりました。

⑦ その他部門

受注、売上高について前年同期を上回り受注高は21億円(前年同期比11%増)、売上高は21億円(前年同期18%増)、営業利益は4億円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末(平成23年6月30日)における総資産は、前連結会計年度末と比べて現金及び預金が50億円、たな卸資産が80億円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が119億円、投資その他の資産が27億円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末比6億円減少の6,262億円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金が46億円、有利子負債残高が11億円それぞれ増加した一方、法人税等の支払により未払法人税等が減少したことなどにより、前連結会計年度末比36億円減少の3,538億円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が12億円、為替換算調整勘定が13億円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末比30億円増加の2,723億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.4ポイント増加し、43.0%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が増加したものの、税金等調整前四半期純利益及び仕入債務の増減額が増加し、たな卸資産の増減額が減少したことなどにより、前年同期比81億円増加の115億円となりました。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出が増加し、投資有価証券の売却による収入が減少したものの、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が減少したことなどにより、前年同期比21億円減少の36億円となりました。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、有利子負債の残高の増加などにより、前年同期比89億円減少の43億円となりました。

この結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して48億円増加の565億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月9日の決算短信で発表いたしました、平成24年3月期の連結業績予想から修正は行っておりません。

なお、第2四半期以降の主な為替レートは、1ドル=80円、1ユーロ=115円と想定しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,486	57,526
受取手形及び売掛金	155,267	143,329
たな卸資産	131,035	139,028
その他	27,546	28,315
貸倒引当金	△991	△1,098
流動資産合計	365,342	367,099
固定資産		
有形固定資産		
土地	117,157	117,761
その他(純額)	96,999	96,910
有形固定資産合計	214,156	214,671
無形固定資産		
その他	6,936	6,763
無形固定資産合計	6,936	6,763
投資その他の資産		
その他	41,867	39,157
貸倒引当金	△1,472	△1,509
投資その他の資産合計	40,395	37,649
固定資産合計	261,487	259,083
資産合計	626,829	626,183
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	131,951	136,591
短期借入金	21,504	24,587
1年内返済予定の長期借入金	4,411	2,421
引当金	7,000	7,032
その他	77,641	68,682
流動負債合計	242,507	239,314
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	31,918	31,964
退職給付引当金	31,380	31,605
引当金	208	212
再評価に係る繰延税金負債	31,836	31,756
その他	9,600	8,988
固定負債合計	114,943	114,525
負債合計	357,450	353,839

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,872	30,872
資本剰余金	23,789	23,789
利益剰余金	188,047	187,587
自己株式	△67	△73
株主資本合計	242,641	242,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	981	2,231
繰延ヘッジ損益	960	1,216
在外子会社年金債務調整額	△1,978	△2,006
土地再評価差額金	39,851	39,735
為替換算調整勘定	△15,129	△13,803
その他の包括利益累計額合計	24,686	27,372
少数株主持分	2,053	2,797
純資産合計	269,380	272,344
負債純資産合計	626,829	626,183

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	109,145	137,892
売上原価	86,343	106,603
売上総利益	22,802	31,288
販売費及び一般管理費	18,206	21,197
営業利益	4,596	10,092
営業外収益		
受取利息	22	37
受取配当金	696	302
その他	501	551
営業外収益合計	1,219	889
営業外費用		
支払利息	408	369
その他	1,519	982
営業外費用合計	1,927	1,350
経常利益	3,888	9,631
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,921
契約損失	—	260
減損損失	—	229
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	480	—
特別損失合計	480	2,410
税金等調整前四半期純利益	3,408	7,220
法人税等	1,632	3,481
少数株主損益調整前四半期純利益	1,776	3,740
少数株主利益	184	276
四半期純利益	1,592	3,464

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,776	3,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,872	1,250
繰延ヘッジ損益	381	256
在外子会社年金債務調整額	△15	△29
為替換算調整勘定	460	1,428
持分法適用会社に対する持分相当額	△45	0
その他の包括利益合計	△1,092	2,905
四半期包括利益	684	6,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	494	6,267
少数株主に係る四半期包括利益	190	378

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益、受注残高

## ① 受注高

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(単位:百万円)

セグメント	前年同四半期 (22/4 ~ 22/6)	当第1四半期 (23/4 ~ 23/6)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
機械コンポーネント	18,033	24,171	6,138	34.0
精密機械	37,147	36,692	△455	△1.2
建設機械	31,634	40,283	8,650	27.3
産業機械	15,547	26,082	10,536	67.8
船舶	1,122	985	△137	△12.2
環境・プラント	12,796	20,606	7,810	61.0
その他	1,910	2,116	205	10.7
合計	118,189	150,936	32,747	27.7

## ② 売上高及び営業損益

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(単位:百万円)

セグメント	前年同四半期 (22/4 ~ 22/6)		当第1四半期 (23/4 ~ 23/6)		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
機械コンポーネント	16,183	407	22,240	1,163	6,057	756
精密機械	25,371	△471	31,824	2,346	6,453	2,818
建設機械	28,841	1,121	34,687	1,638	5,846	517
産業機械	14,968	2,626	13,940	1,845	△1,029	△781
船舶	8,764	951	23,282	4,816	14,518	3,866
環境・プラント	13,274	△214	9,863	△2,124	△3,411	△1,909
その他	1,742	164	2,055	416	313	251
調整額	—	13	—	△9	—	△22
合計	109,145	4,596	137,892	10,092	28,747	5,495

## ③ 受注残高

当第1四半期連結会計期間末(平成23年6月30日)

(単位:百万円)

セグメント	前期末 (23.3.31)	当第1四半期末 (23.6.30)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
機械コンポーネント	26,385	28,316	1,931	7.3
精密機械	66,134	71,002	4,868	7.4
建設機械	23,875	29,471	5,596	23.4
産業機械	85,076	97,219	12,142	14.3
船舶	96,770	74,473	△22,297	△23.0
環境・プラント	69,811	80,554	10,743	15.4
その他	1,942	2,002	61	3.1
合計	369,994	383,037	13,044	3.5

当社のセグメント区分は以下のとおりであります。

事業区分	主要製品
機械コンポーネント	減・変速機、モータ
精密機械	プラスチック加工機械、フィルム加工機械、半導体製造装置、レーザ加工システム、極低温冷凍機、精密位置決め装置、加速器、医療機械器具、液晶ディスプレイ製造装置、精密鍛造品、制御システム装置、防衛装備品、工作機械
建設機械	油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械
産業機械	鍛造プレス、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム、タービン、ポンプ
船舶	船舶
環境・プラント	自家発電設備、ボイラ、産業廃棄物処理設備、大気汚染防止装置、水処理装置、プロセス装置、反応容器、攪拌槽、空調設備、食品製造機械

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期 (22/4～22/6)	当第1四半期 (23/4～23/6)	増減
税金等調整前四半期純利益	3,408	7,220	3,812
減価償却費	4,357	4,246	△111
売上債権の増減額(△は増加)	17,174	17,301	127
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,995	△5,715	4,280
仕入債務の増減額(△は減少)	△571	2,022	2,593
法人税等の支払額	△5,801	△11,117	△5,316
その他	△5,091	△2,408	2,682
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,482	11,549	8,067
固定資産の取得による支出	△3,467	△4,132	△665
連結の範囲の変更を伴う子会社の取得を伴う支出	△2,608	—	2,608
投資有価証券の売却による収入	358	38	△320
その他	△27	485	512
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,745	△3,609	2,136
借入金等の増減額	△10,529	352	10,881
配当金の支払額	△2,130	△4,336	△2,207
その他	△521	△344	177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,179	△4,328	8,852
その他	341	1,154	813
現金及び現金同等物の期首残高	61,452	51,700	△9,752
現金及び現金同等物の四半期末残高	46,351	56,467	10,115